

【教育目標】  
人間尊重  
自己実現  
心身の健康

# 小園中だより

TEL.06(6493)0280 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J22/index.html>

令和2年度  
2月1日  
(月)  
第11号

新型コロナウイルス感染拡大により多くの方が亡くなり、治療されている方がおられます。謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

みなさん、「早寝・早起き・朝ごはん」は続いていますでしょうか。

今年2月2日が節分です。2日が節分になるのは1897年以来、124年ぶりのことです。江戸時代から立春の前日のことを主に節分と言うようになったといわれています。暦の上では、節分が終わると春といわれています。とはいえ2月は1年の中で寒い

日が続く月です。節分といえば、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、1年の無病息災を願うという風習があります。このことは中国から平安時代に伝わってきました。また豆を、自分の年の数だけ食べると身体が丈夫になり、風邪をひかない等のならわしがあるところもあります。節分に、縄に柀(ひいらぎ)やイワシの頭を付けた物を門にかざるところもあります。子どもたちといっしょに、日本の伝統や文化、風習についてお話してください。

## 【緊急事態宣言発令の中で】

2度目の緊急事態宣言が発令され、時間短縮、イベントの中止と自粛ムードが広がり、在宅の時間が増えています。早く感染拡大がおさまるよう努力と協力が必要です。そのような中、私は生徒たちに次のような話をしました。「外国で発生した新型コロナウイルス感染症が国内で広まり、第3波はなかなかおさまりません。尼崎市でも多くの施設でクラスターが発生しています。緊急事態宣言下、特に気をつけて欲しいことをお話します。…皆さんの健康を守り、学校を休みにしないための大切なお話です。1番大切なことは感染症を正しく理解し、冷静に行動することです。正しく理解するとは、新型コロナウイルスがどのようなものなのか、どのようにすれば自分の身を守ることができるのかを知ることです。コロナウイルスはとても小さく、顕微鏡で見なければ見えません。…ですから、移らないようにするためには、3つの密さけることです。第1は窓をあけて空気を入れ換えること。第2は大勢が集まらないようにすること。第3は近い距離で話したり大声をだしたりしないことです。…緊急事態宣言下、これらのことを1人ひとりがしっかりとやり、みんなで気をつけ協力することが大切です。冷静に行動するということは、新型コロナウイルスのことを正しく知った上で、3つの密に気をつけながら自分や友達と行動することです。自分の身を自分で守るための大切な行動が手洗いです。…さらにマスクをすることが大切です。そして咳エチケットもしっかりとやりましょう。しかし、こうした努力をしても感染症にかかってしまうことがあります。その場合は、病院に相談して治してもらいます。臭いを感じない、味がしないなど、自分の身体がいつもと違うなと思ったらお家の人や先生にすぐに相談しましょう。コロナに関して、困ったことがおこっています。それは、感染してしまった人や、それを治すために日々努力しているお医者さん、看護師さんをはじめ治療に係わってくれている人達に対して心ないことを言ったり、したりする人がいます。一所懸命に困っている人を助けるために働いている人達を傷つけるようなことをしたり、言ったりすることはとても悲しいことです。だれもが自分が必要ですが、人のために自分の命をかえりみずにな一所懸命に働く人々を悲しませるようなことを言ったりしたりすることは絶対にやめましょう。皆さんのことはお家の人、先生、そして地域の人、保健所や病院の人々などの大人が見守っています。ですからこの緊急事態宣言下は3密を避け、手洗いやマスク等をしっかりとやって生活を楽しくしましょう。」保護者、地域及び関係機関の皆さまにおかれましては、緊急事態宣言下の子どもたちの見守りをよろしくお願い致します。



## 【1. 17地震・津波避難訓練を実施しました】

6434名がお亡くなりになった阪神淡路大震災から26年がたちました。この地震災害のあとも10年前に東日本大震災、4年前の熊本地震、鳥取地震、3年前には大阪北部地震、北海道地震で多くの被害にみまわれました。私たちは今、いつでもどこで地震が起こっても不思議ではない日本列島で生活しています。科学の発達とともに地震や津波の仕組みは解明されてきていますが、地震を止めることは人間の力ではできません。ですから、地震や火災が発生したとき、一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という行動をとることです。1・17この日を忘れずに、避難訓練をくりかえして、いざというときに備えておかなければなりません。生徒の皆さんは今、こうして生きていることの幸せをしっかりと受け止めて、生きていることができなかつた人たちの分まで勉強し、立派に成長し、自然災害の多いこの日本の国を守って欲しいと願います。1月15日に、本校において地震津波避難訓練を実施しました。どの生徒たちも真剣に、運動場への地震避難訓練と各教室への津波避難訓練に取り組みました。訓練では担任の先生から事前指導があった避難のポイントを4つ確認しました。・机の下に隠れるときは、頭をかくす、机の脚をしっかりと押さえることが大切です。・出口の確保です。ドアや窓を開きます。誰でも良いです。避難経路を確保します。・先生の指示に従って、避難するときは「おはしも」の合い言葉です。「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」です。この合い言葉が守れることができ、指示通りに避難できたことになります。・火を使用している授業中では、身の安全を確保して、揺れが収まってから火を消し、ガスの元栓を止めます。地震、津波や火災は、皆さんがどこで何をしているときに起こるかわかりません。いつ、どこにいても、自分がいるところからできるだけ近い避難経路で、安全な場所に、速やかに避難してください。ご家庭でも、地域でも「そなえよつねに」で心がけをお願いします。



## 【心の教育講演会を実施しました】

1月21日、十分な感染防止対策をおこない、講師の久本絢愛先生をお招きして「本当の私ーLGBT当事者と生きづらさー」という題で講演会を実施しました。生徒たちは静かに、真剣な表情で講師先生のお話を聴いて考えることができていました。日常会話において、これまでよく耳にしている表現に「男らしく…女らしく…」などがあります。これらは人の性に関する表現ですが、このようにいわれる事に強い違和感や苦痛を感じている人がおり、人と人との関係において、私たちは十分に配慮しなければなりません。身体の性と心の性が一致しないことによって生じる悩みは性別違和といわれます。これは人が生きていく上で保障されなければならない権利、すなわち人権の問題として私たちは認識しなければなりません。本校では心の教育として生徒たちに対してこのような公演会等を実施して学習の場を設定しています。



## 【小園幼稚園の園児たちが来校しました】

小園幼稚園の園児たちがたこ揚げに来てくれました。園児たちにとってはとても広い運動場で元気いっぱいたこ揚げを楽しんでいました。毎年中学生もお手伝いをしながら一緒に楽しんでいるのですが、今年緊急事態宣言発令中ということで、中学生によるお手伝いは自粛することとなり、とても残念でした。また来年もお待ちしております。いっしょにたこ揚げを楽しみましょう。



## 【ミマモルメの登録をお願いします】

まだ、「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、登録をお願いいたします。緊急事態宣言下、大切な連絡についてはミマモルメにてお知らせいたします。学校の電話回線数では緊急連絡は困難な状況です。どうぞよろしくお願い致します。